

ベジフル SAGA (2024 年 12 月号) ～ ブドウ栽培管理 ～

今月は、今年度の生産を振り返るとともに、園および樹の状態等を確認しながら、1月のせん定がスムーズに実施できるよう不要枝の除去や園内の環境整備に取り組みましょう。

○間伐

今年は、着色遅れ・着色不良が問題となりました。毎年着色が悪い樹や樹勢が極端に低下した樹は計画的に更新を行ってください。また、枝が重なり合って日当たりや風通しが悪くなると、品質低下を助長します。その場合は思い切って間伐を実施してください。

○粗せん定

近年、ブドウに限らず温暖化の影響で落葉が以前より遅れる傾向にあります。年内は、樹液が流動しているため、年明け1月中旬以降が実施適期となります。せん定が早すぎると、特に長梢せん定で、残した枝が強い寒で枯れこむことがあります。樹体が寒さにあたってから作業を開始してください。

今月は、スムーズにせん定を開始できるように徒長枝の切り戻し、登熟不良枝や枯死枝のせん除、テープナーの除去等を事前に行いましょう。

せん定の具体的な内容については1月号に記載します。

○病害虫防除

園内に残っている落葉、切り枝、巻きつるは、病原菌の越冬場所となるので、園外に持ち出して処分します。

○ハウスブドウ

加温およびビニール被覆は、今年の生産量や樹勢等を考慮して、計画を立ててください。

また、A重油の使用量を抑えるために、三重カーテンや断熱資材等の導入によりハウス内の気密性を高めて、コスト削減に努めましょう。

○苗木の管理

注文された苗木は、12月頃から手元に届きます。秋植える場合は、12月中旬頃までに植えつけてください。春植える場合は、深さ20cm程度の穴を掘り、苗を寝かせて仮植えし、防寒のため上からワラを被せます。どちらの場合も根が乾燥しないよう、土壌の状態をみながらかん水を行ってください。